令和6年度

神領小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習や活動を実践し「わかった」「できた」「がんばった」という喜びや達成感を味わえる授業づくり

〇基礎・基本（聞く・読む・話す・書く）の力を身に付けるための学習活動の工夫

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員
教諭
伊月　沙織

委員　校長　村松　由丈　教頭　中岡　奈々
教務主任　寺奥　久滋　人権教育主事　伊月　沙織
生徒指導主任　喜井　良江
特別支援コーディネーター　蔭山　祥子　　秦　侑希

校長

村松　　由丈　　印

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

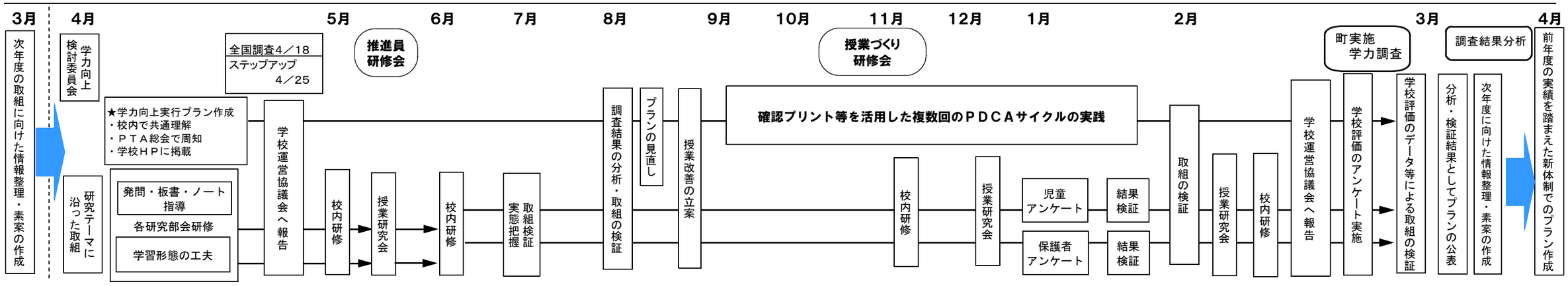
（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇漢字・計算など基本的な力は定着している児童が多い。 〇素直で、課題に一生懸命取り組もうとする。 ●基礎・基本の力に個人差がある。 ●習得した知識・技能を活用して問題を解決することに課題がある。	・習得した基礎・基本の力を、様々な学習や生活の場面で、活用することができる。 ・めあてをもって学習に取り組み、自分なりの解決方法を身に付けることができる。	・朝の学習時間等を活用し、基礎・基本の力の定着を図る。 ・読み取り問題を反復的に学習することで慣れ、苦手意識をなくしていく。 ・ TT 指導を効果的に行い、個に応じた指導を継続する。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりすることができる。 ●友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを再構築したり、根拠や理由を明確にしながら話したりすることが難しい。	・目的に応じて、根拠や理由に明らかにしながら、自分の考えを進んで伝え合ったり、話し合ったりすることができる。 ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを再構築することができる。	・めあてを明確にした授業、問題解決型学習の授業展開をすることで、既習の知識・技能を授業内で活用して考える場面を設定する。 ・スマイル班活動の充実を図り、高学年は下学年の立場を考えて行動したり、下学年は、上学年の姿を見て学んだりし、思考力や判断力を養う。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇学習に取り組む姿勢が前向きで、挙手や発言が多い。 〇何事にも一生懸命取り組むことができる。 ●自分で課題を見つけて取り組んだり、苦手克服に向けて学習に取り組んだりすることは、課題である。	・学ぶ楽しさを感じ、課題や自主学習に積極的に取り組むことができる。 ・自ら考え、友達と話し合い、学び合うことができる。 ・自分の学びを振り返り、自らの課題を把握し、課題解決に取り組んだり、次に生かしたりすることができる。	・教材研究をしっかりと行い、学ぶ楽しさを感じられる授業づくりをする。 ・児童の実態を把握し、めあてや課題の設定を工夫する。 ・振り返りを行うことで、課題に気付くことができるようにする。			

令和6年度　学力向上ロードマップ